

Ⅲ-P-133 沖縄県産桑の葉を原料としたお茶による血糖値上昇抑制効果

島尻 佳典¹, 久米 大祐², 大塚 京平³, 伊東 昌章², 島尻 公彦¹, 高良 昭子¹,
村上真千子¹, 仲島千枝美¹, 河崎 艶子¹, 知念 直美¹, 壽 英子¹, 知名 恭子¹
医療法人太平洋会キンザー前クリニック(診療所)¹, 沖縄工業高等専門学校², 浦添市産業振興課農林
水産係³

【目的】

沖縄県浦添市で生産されるシマグワ葉パウダーに血糖抑制効果があるか検討する。

【対象及び方法】

健常成人15名(男6名, 女9名)に75g経口糖負荷試験(OGTT)を施行。同一被験者にシ
マグワ葉パウダー(2g)を負荷15分前に摂取させる場合(シマグワ条件)と, 摂取させな
い場合(対照条件)の2条件で血糖値及びインスリンを比較した。研究は当院倫理委員会
により承認された。

【結果】

シマグワ条件で糖負荷30分後に頂値となった血糖値(111 ± 15 mg/dl)は, 対照(119 ± 21)
と比較し低値で, 120分値(93 ± 14)は対照(82 ± 17)より遷延して高値であった($P < 0.05$)。
インスリン分泌もこれに対応し30分値(23 ± 13 μ U/mL)は対照(37 ± 15)より低く, 120
分値(24 ± 9 vs. 18 ± 9 対照)が遅延した($P < 0.05$)。

【結語】

沖縄県産桑の葉は75gOGTTにおいて30分後の血糖値を抑制し, インスリン分泌も遅延さ
せる。